

看護部

血液浄化センター

血液浄化センターは感染症患者、重症患者などに対応した個室6床を含む57床からなり、午前透析、午後透析の2クール施行しています。

当施設では、血液透析の他、血漿交換、LDL吸着、PMXなどの特殊療法も実施しています。

血液透析は、血液を体外循環させ人工腎臓を通り毒素を取り除いた血液を体内へ戻す工程を4時間行います。これには医療スタッフの知識、技術が必用です。

臨床工学技士も含め先輩看護師から新人看護師への指導また新人看護師が透析について勉強した事を先輩看護師、臨床工学技士に発表してもらい知識の向上をはかっています。

血液浄化センター防災訓練も実施し、透析中に自己抜針し避難する方法などを取り入れ患者さんとその家族を含めた避難訓練を実施しました。また、UPS（無停電装置）も設置されており災害に強い血液浄化センターです。

透析患者さんも高齢化し今まで以上に安全管理が求められます。医療スタッフが協力しより安全な医療、看護を提供していく必要があると思います。

実績

- ・山下昭二

11月9日／第17回日本腎不全看護学会

- ・坊坂桂子

6月12日／第59回日本透析医学会学術総会にて発表

- ・愛甲美穂

3月7日／第12回日本フットケア学会年次学術集会にて発表

5月17日／第44回日本心血管インターベン

ション治療学会にて発表

5月27日／腎と透析セミナー2014にて発表

6月 5日／DM Nurse勉強会にて発表

6月12日／第59回日本透析医学会学術集会・総会にて発表

6月17日／第9回埼玉西部地区フットケア研究会にて発表